



発行所  
長崎県病院企業団  
長崎県中対馬病院  
〒817-0322  
長崎県対馬市美津島町高知甲 1304-1  
TEL0920-54-2024  
FAX0920-54-4171

**理念**  
私たちは、地域に住む人々に  
信頼と安心を提供できる  
病院を目指します

# 平成26年を振り返って...

# 税

今年一年をイメージする漢字は「税」でありました。4月から消費税が8%となり、経済的負担増を感じたことが大きな理由のようです。

- ① STAP細胞論文問題
- ② 兵庫県議号泣会見
- ③ 広島市の大規模土砂災害(74人が死亡)
- ④ 西アフリカでエボラ出血熱
- ⑤ 全米テニスで錦織圭、準優勝
- ⑥ 御嶽山噴火(57人死亡、6人行方不明)
- ⑦ 阪神タイガース日本一を逃す(SBH優勝)
- ⑧ ノーベル物理学賞3人が受賞
- ⑨ 中国漁船による小笠原近海でのサンゴ密漁
- ⑩ 衆議院解散総選挙

一年を振り返りますと、災害、事件が多数を占め、明るい話題は「錦織選手」「ノーベル賞受賞」くらいでした。やはり経済の動向と社会の話題の明暗は、相対効果を持つかのように見えます。また、今年は「地方」にとってシヨッキン的な「地方消滅」という本が刊行されました。2040年の対馬市の推計人口は14,074人(2010年34,407人)。実に2万人の減と予測されています。本当にシヨッキンな推計です。人口と医療とは

密接な関係にあるだけに憂慮すべき問題であります。

院内に話題を向けますと、4月に診療報酬改定、7月に療養病棟休床、9月には村瀬院長の転任。平成27年の新病院開院に向けて大きな転換期を迎えたと言えます。

また、職員の皆様には、「来年には新病院に移るから・・・」という理由で、古い施設、古い機器で我慢をお願いしてきました。ご協力に感謝いたします。

さらに12月に入ってから、電子カルテのワーキングが盛んに開催されています。これに参加されています職員の皆様には、週に何度も対馬いづはら病院での会議に足を運んでいただいています。このご苦

労に対しましても、敬意を表したいと存じます。

年が明けますと、新病院移転に向けての動きが激しくなります。気力、体力の温存をよろしくお願いいたします。

さて、私は今年目標の一つに、新病院に向けての医事職員の人材育成を考えておりましたが、思うままにならず今後課題を残すこととなりました。私の不覚をお詫びいたします。

私事ではありますが、年初には母を亡くすという弔事もあれば、その反面の慶事も有り「還暦の年」として非常に記憶に残る1年でありました。「また一つ歳をとっただけ」と自問自答しているところですが、来年は、自分



皆様、良い年をお迎えてください。

事務局長 熊中 健二

## 中対馬病院での研修を終えて

## 長崎医療センター 平光 寿 先生

平成26年12月、月でしたが、研修前の一カ月間の研修をさめていただきました。2年次研修医の平光寿です。長崎県五島市出身で、高校・大学とずっと県内で過ごし、現在も長崎医療センターを中心に研修を積んでおります。

今回の中対馬病院での研修は、

① 2年間の研修も大詰めに差し掛かり、自分自身の力がどれほどついているのか、

② 五島とは異なる島はどういった環境なのか、

2つの点でとても楽しみにしていた一カ

月でしたが、研修前の期待を軽々と超える充実した研修となりましたと自負しています。

普段の診療では毎日新患外来を担当し、問診・検査・処方、そして必要時には入院まで主治医となつて診させていただきました。

医療センターでは上級医が処方や入退院処理を行うのを何となく見ていることがメインでした。

先生方(そしてベテラン看護師さん方)に相談しながらではあるものの、自分自身で診療を完結させた経験は大きな自信となつてきました。

対馬の環境に関しては、やはり韓国人が多いなどというのが一番の印象でしょうか(笑)。

12月で寒波の影響もあり観光をする機会は決して多くありませんでしたが、

晴れた日には師長さん方が城山登山に誘

つてくださいました。

その日の空気はとても澄んでいて、歩くだけで気持ちよかったことに加え、遠くにかすむ韓国も拝むことができました。久しぶりのコンビニのない環境に少し不安を覚

えもしましたが、対馬の皆さんもとても親切で楽しい一カ月を送ることができました。

また、12月ということで院内忘年会にも参加しましたが、お見苦しい芸を披露してしまい申し訳ありませんでした(笑)。

あろうことか翌日のいづはら病院忘年会でも粗末な裸体を披露してしまい、もうすぐ長い歴史に幕を下ろす対馬の2大病院

の最後のページに

深々と名を残す結果となつてしまいました。

この原稿執筆中も、来年の人事を今か今かと待ちわびている状況です。

上五島病院でなければ、対馬の新年度の新人挨拶で私の顔を見ることがあれば、気軽にお声かけいただけると幸いです。

一か月間、本当にありがとうございました。





# 杏林大学病院 市川 華理 先生

あつという間に3週間が経とうとしており、今、来て良かったと心から思っています。ここで、この3週間(+8)を振り返ってみたいと思います。

## 【対馬上陸】

初日に降り立った空港の衝撃の小ささと、豊かな自然、ほほ歩いている人いない道に、冒険に来たようなワクワク感を覚えました。綺麗な海に沈む夕日は圧巻。でも風が強い!! 大学は山形だったので寒さには強いつもりでした

が、これには参りました。12月じゃなかったら、もつと対馬を満喫できたことでしょう・・・

## 【研修午前：新患外来】

杏林でも救急外来は研修医が担当しますが、外来には上級医が常におり、専門科へのコンサルトもすぐ出来ます。しかし、中対馬では帰宅か入院かの判断まで全て自分。入院になれば自分が主治医となり、検査のタイミングから退院の決定まで自分で下す。これはとても責任の重い

ことです。しかしその分、必死に考えました。それに本当に困った時には、野口先生をはじめ先生方が相談に乗ってください、これだけでも研修に来た甲斐があったと言えるくらい勉強になりました。

## 【研修午後：手術】

毎日手術があるということは、実は当初は誤算でした(皆さんごめんなさい)。離島研修を志望したのは、「診療所」的な医療に触れてみたかったからで、手術もできる病院では私の思い描いていたものとは異なつたのです。

しかし、来たからには縫合等少しは上手くなりたいたいと思ひ、出来るだけ手術に入らせていただくようにしていました。そのせいか、当初はこの不器用な私が、外科志望と思われていたようです(笑)。でも、

そんな私にも、寺谷先生・蒲池先生はじめ手術室の皆さんが優しく接してくださり、勘違いして整形外科もいいかもと思つてしまっただけでした。

## 【当直】

これも外来同様、いやそれ以上に勉強になりました。夜間には病院内にいる医師は自分のみ。採血ひとつするにも拘束の技師さんを呼ばねばならないので、必要性があるかを吟味しました。挫創、骨折疑い、中耳炎疑いなど、杏林では絶対に他科コンサルトする患者も全てまずは自分で、必要に応じて拘束の先生方を呼びます(呼ぶタイミングは、出来る看護師の皆様が判断してください、助かりました!)。初回の当直は本当に緊張して、同時に患者さんが来てしま

いとおろ。その時に一緒に診て下さった古閑先生の言葉は、私の中の医師としての芯をしつかりとし

たものにしてくださいました。ずっと忘れないと思います。「研修医最後の日と、3年目の初日は何が違う? 何も違わないでしょ。」

私が一番ノリが悪かったようです。2年目のけんさ(平)には同学年として刺激される点が多く、1年目の目からは思えない突っ

## 【その他】

筋トレがあるとは聞いていましたが、できるだろうと軽い気持ちで参加したらベンチプレスが全然上がらずにシヨックでした。先生方の筋トレっぷりはもうトレーナーばりに凄くて惚れ惚れ。体幹鍛えて出直してきます。

飲み会は、さすが対馬で、カシスオレンジなんて甘っちょろいものを頼む人は一人もおらず。梅酒を頼むとしてもボトルで飲み干す。お酒好きとか迂闊に言ってしまった自分が恥ずかしいです。肝臓鍛えて出直してきます。

## 【研修仲間】

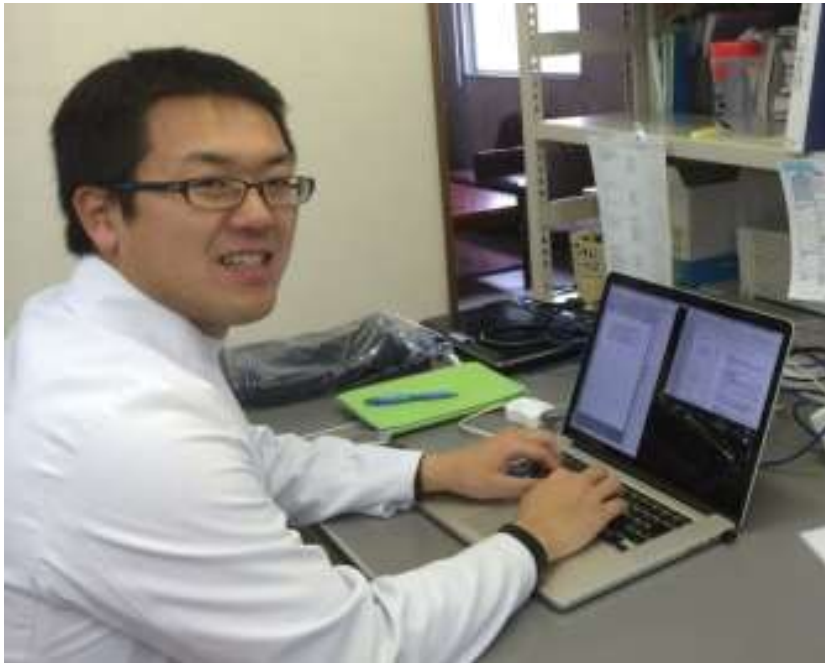
一ヶ月を共に過ごす仲間が一番気になるところでしたが、二人ともキャラが濃くお酒も強く、むしろ



## 【最後に】

中対馬病院の皆様、1ヶ月間お世話になりました。今更ながら、医師としての基礎をここで学ぶことができました。本当にありがとうございました! ございました!

# 長崎大学病院 唐田 博貴 先生



直前の釜山旅行から 非常に楽しい研修を過  
対馬へ帰国、比田勝で入 ござせて頂いています。  
国する際に思いました。 中対馬病院を選択し  
「あれ、入国ゲートって 理由は、長崎市から一  
こんな感じだったけ...? 番遠いから、でした。遠  
来る場所間違えた...?」 いというそれだけで、き  
あれから3週間経ち っと何かがあるに違い  
原稿を書いている現在、 ないと考えて選択しま  
当初の不安はかき消え したが、自分の選択は非

常に正しかったと今嘯  
み締めています。

病理医志望というこ  
ともあり臨床経験がほ  
とんど無い自分が、まさ  
か初日から新患外来を  
任され、自分で帰宅か入  
院かの判断をすること  
になるとは全く考えて  
おらず、当初は不安を超  
えて恐怖のレベルでし  
たが、何例も経験した後  
では非常に良い経験を  
させて頂いたと考えて  
います。他の病院ではそ  
こまでの判断を1年目  
の研修医に委ねること  
はあまり無いようで、中  
対馬病院ならではの経  
験でした。風邪やインフ  
ル、眩暈、倦怠感、発熱  
や外傷...多くの病態  
について、最初から最後  
まで自分で評価しなく  
てはいけない環境だか  
らこそ、4月からの9ヶ

月間の研修のなかでも  
特に学びの多い1ヶ月  
となりました。まさか人  
生初の当直をここで経  
験し、しかも初日から3  
人入院させ、更に心筋梗  
塞疑いを一人で診るこ  
とになるとは思わず、ス  
トレスでこちらがVIT  
になるかと思いました。  
自分が引く、側の医師  
であることもここに來  
て初めて知りましたが  
...

たいなあ、けど完全に治  
さない心配だし...。そ  
んな不安や葛藤と戦い  
ながら、実際に泣いたり  
笑ったりする患者さん  
と触れ合う、そんな経験  
は病理医としてこの先  
殆ど無いでしょう。1ヶ  
月という纏まった期間、  
患者さん達と触れ合う  
経験が出来たのは非常  
に良い経験でした。人と  
触れ合うのが大好きな  
のに病理医になるのは  
ちょっとだけ躊躇いま  
すが、今回の経験のお陰  
で自分の診断の先に中  
対馬病院で出会ったあ  
の患者さん達が居て、そ  
の幸せに大きく貢献で  
きる、これから先もそう  
考えることが出来そう  
です。

研修の時期も非常に  
良い時期となり、忘年会  
に参加させて頂けたの  
は幸運でした。出し物も  
させて頂いて楽しめた  
のですが、早く忘れて頂



く優しさではなく、1週  
間経つてもお褒め頂  
ける優しさが心に沁み  
ます。食事会に何度も招  
待して頂いたり、休日に  
は山登りに誘って頂き、  
対馬自体も楽しむこと  
が出来ました。  
最後になりましたが、  
知識も少なく慣れてい  
ない自分を優しく教え  
て下さった全職員の  
方々にお礼申し上げます。  
中対馬病院を選択し  
て本当に大正解でした。  
いつかまたお会い出来  
る日を楽しみにしてい  
ます。



# 「松村日記」その十四

傍から眺めているだけでは、ほぼ絶対に、その人の事を具体的に捉える事はまず起こり得ないと考えます、大方の意見では客観的な捉えかたに固執してしまいがちです。

そんな状況でも、その人を揶揄する輩もいますが、周りに流されやすいオーディエンスな状況に居るにも関わらずさも正論の如く論じてしまう人も居ます。

よく喧嘩両成敗とは、どちらの意見も聞いてからの判断をこのことの意味ですよね。かたや一方の意見にばかり耳を傾ける性質の方もいるように思います。両方の意見が届いたとしても、正確に伝わるという保証はなく、なかなか平等にという言葉を使える状況にならない事の方が多いうように思われます。だから裁判も時間が掛かるのでしょうか。気づいたら何年も前の事件の判決が今頃という状況は多いように思います。

世に蠢く数々の噂話ですが、私もついつい耳を傾聴してしまったり、させられたりする様に思っています。勿論自分以外の事に関してはですが。はなはだ自分の事となれば本人を前にして話してもくれないでしょうが。まあ相手が気付かずに話されて面を食らうかもしれません。その時に真実を語るや否やは、あなた次第ですが。

この手の類は不思議と何処で発生してどんなルートでどのタイミングで伝わるかで大きくも小さくも、経過のスパイス加減で幾層にも伝わってきます。情報化社会のネジレの部分であり、たり疲弊の部分なのかもしれません。この現代において携帯端末がパソコンの代わりになると誰が思ったり考えたりしたのでしょうか。旅先でホテルの予約や交通手段の予約変更が簡単にできてしまいます。凄くを通り超え至極便利です。オークションとかも利用しますが移動中も手に取るように情報が入りビックリします。いつとき前は家でパソコンを立ち上げるといふ所から始めなければ成らなかったのにですよ。考えるだけでこのモノや情報が溢れる現代社会が普通に思う今の子供達はどうな大人になるのか考えるとゾッとする事もあります。まあ私のキャリアが小さいと直ぐにオーパーフローしてしまうだけなのかも知れません。さて今回はなにを言いたいのか？情報化社会を通り越して今や情報過多の時代と思います。あらゆる情報が多様化しており伝わる物や事象が全部、正論とは限らないと言う事です。深夜番組で通販番組を眺めていると、「ついでの商品！」と思った事無いですか？私もついでの手を出し商品が届いてびっくり何てことはヨクあります。ネットとかしていてもツイツイなどと多く経験しました。あげくには今は使わないがイズレやコンド使うかもと手に



入れたモノ物。オークションの競り落とす感動？に釣られたモノもあり何度も何度も思ってもツイツイ暇だつたりすると手が勝手に動いていた何ともう一種の病気ではと冷静な自分は判断もできる時もあるのですが。

消費に対して、「対価の物には幾らでも投資をする」人間の欲望にうまいように取り入る能力を発揮する輩も世の周りには多く、ある種お金を集める能力の部分に於いては才能があるのも理解できます。健康食品で「食べたり飲んだりして健康に」へえこれだけでアンチエイジング！簡単だしこれぐらいの価格だと買えるか！「みたいな感じで、ついつい近くのディスカウントショップや薬局で買ってし

まいます。効果が楽しみと長い目でついつい消費してしまいます。フラシーボ効果なのかな？不思議と使い始めるとその気にもなります。でもこの手の商品、詐欺商法のギリギリのスリルを楽しむ感じもあります。ネット通販の楽しそうに画面に現れる人々のインタビュの商品の紹介の最後にはお決まりのフレーズが必ずあります。「商品の効能は個人差があります。」だから効かないのか、ふん。納得。食べるだけで見る見る綺麗なんてやはり絵空事ですすねえ。

最後に連続テレビの「マッサン」ですが週ごとのサブタイトルに格言が付いているのですが、これまでの放送の一つに「情けは人の為ならず。」の週がありま

した。これまで現実に目の前で困った人にチョコチョコ出くわすことがありました。その度に情けを掛けて手伝ったり介助したりすると、その人の為にならない。「情けは人の為ならず。」と使うと信じており、そう使った参りましたが、実際は情けを掛けると巡り巡って自分に施しが却って来る。というのが本場の慣用句とこの年に成って知りました。恥ずかしい限りです。しかしこれからは本来の意味で使えるので良しとしようと考えます。人はその人の立場やその人の状況に成らないと本質は見えないと言う思いで今号を書いてみました。情報化社会において虚飾された情報を取り込まないようにする事が大事と考えます。おれおれ詐欺の様な事に巻き込まれないように皆さんの関係ある人が巻き込まれないようにこれからも無事に過ごして行きます。来年は明るいニュースが多く成る事を願う今年を締めます。感謝

検査 松村 栄治

# 2014 中対馬病院 忘年会 in 忘れられない 忘年会

これに目を通してくださっている読者の皆様、いよいよ冬本番、寒さがより一層厳しくなってきたておりますが、いかがお過ごしでしょうか？この度、平成26年度中対馬病院忘年会総合同司会、そしてその報告の役を拝命しました総務係の阿比留慎介です。

去る12月18日、中対馬病院の忘年会が総勢80名以上のご参加をいただき、盛大に行われました。今回、いづはら病院との統合前、中対馬病院として最後の忘年会になるということで、企画段階から総務の中で少しでも良い思い出になる会が出来ればと考えていました。

そこで、他部署の方々(梅野さん、上野

さん、飛鳥さん、ありがとうございます！)にも協力をいただき、ダンスを披露することになりました。例年の通り「時間になりましたので、ただ今より・・・」と始めるよりも、最初に何か盛り上がる出し物を「掴み」として出来ないかと考えたためです。

何度も終業後や休日に時間を合わせ、衣装や振り付けなどを話し合い、何時間も練習して、我がことながら、もしや何もかも上手いって、なかなか楽しいものを披露できるのではないかと自画自賛とも言える手ごたえを感じていたので・・・、現実にはそれほど甘くないものですね。参加された方はご存じでしょうか、いよいよ本番になって、勢い良く

飛び出してはみたものの、肝心の照明が点かず、前半が真っ暗闇の中で踊るといいう結果になってしまいました。せつかく準備をしてくたのにお変装した失敗も含めて笑っていただけたのがとても救いかなと思っています。

その後、自分は個人的な挨拶はそこそこに、司会に専念させていただきます。入念な準備がされたであろう他の部署の出し物(4階病棟、福山先生や中田先生、吉見先生の可愛らしく、セクシーな衣装。事務長のエシキギタの妙技。もはやこれが無いと何か物足りない気さえする中島さんのダンス。島田さんのプロのようなこぶしの効いた歌声。整

形外来の単なる物まねの域に留まらない徹底した笑い)や、即興での飛び入り芸もあり、大いに盛り上がった会場の雰囲気は飲まれてしまい、最後のピンゴが終了したときには、やはりというべきか時間が押していました。こういった会を仕切るには、楽しむ中にも状況に合わせた判断力と、広い視野が常になければいけないと再認識し、最初から最後まで反省しきりの3時間だった次第です。

冒頭にも書きましたが、「皆さんの記憶に残る会を」と自分なりに考えた忘年会でしたが、こうやってこの文章を書きながら改めて考え直せば、良くも悪くも自分が一番思い返しているだろうことに、何ともし

えない可笑しみを感じます。

最後に、今回、何かにつけ腰の重い自分を引っ張ってくださった松村さんをはじめとした総務係のみなさん、フォローしていただいた後輩、諸先輩方、忘年会に参加していただいた職員。そしていさりびを手に取り、最後まで稚拙なこの文を読んでいたいただいた皆様へ感謝と、残り少ない平成26年が平穩無事であることを祈って、筆を置かせていただきます。

平成26年 冬至

中対馬病院 総務係  
阿比留慎介





# 長崎県中対馬病院

# 平成27年1月 外来診療予定

診療科	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
内科① 新患	野口 雄司	俵 正幸	俵 正幸	貞光 隆志	野口 雄司
内科② 再来	俵 正幸	貞光 隆志	貞光 隆志	俵 正幸	俵 正幸
内科③ 再来	貞光 隆志	野口 雄司	野口 雄司	野口 雄司	貞光 隆志
午後外来	野口 雄司	貞光 隆志		俵 正幸	
救急車・病棟対応	内:野口 外:山口	内:貞光 外:古閑	外:山口	内:俵 外:古閑	内:野口 外:古閑
外科①	古閑 敦彦	山口 健一	古閑 敦彦	山口 健一	山口 健一
整形外科①	寺谷 威	寺谷 威	寺谷 威	寺谷 威	寺谷 威
整形外科②	蒲池 祐紀	蒲池 祐紀	蒲池 祐紀	蒲池 祐紀	蒲池 祐紀
皮膚科			14日・28日 九州大学病院	15日・29日 九州大学病院 予約のみ 8日・22日 長崎大学病院	9日・23日 長崎大学病院 予約のみ
眼科			毎週 九州大学病院		
耳鼻科			毎週 福岡大学病院	毎週(午前) 福岡大学病院	
神経内科		20日 大村市民病院			
泌尿器科			7日(午後~予約のみ) 長崎大学病院	8日 長崎大学病院	
肝臓外来					23日(予約のみ) 長崎大学病院
女性専門外来		13日(予約のみ) (聖フランシスコ病院)			
腎臓外来					16日(予約のみ) (聖フランシスコ病院)
胃内視鏡	山口	古閑	江口 14日・21日 福岡大学病院 7日・28日	古閑	古閑
大腸内視鏡			江口 14日・21日 福岡大学病院 7日・28日		
気管支内視鏡			野口		
心エコー	検査科	検査科	検査科	検査科	検査科
透視	村瀬・貞光	村瀬・貞光	貞光	村瀬・貞光	村瀬・貞光
リハビリ	理学療法	理学療法	理学療法	理学療法	理学療法

☆事業所健診は、8月で終了しました。

☆診療費のお支払いはクレジットカードが、ご利用できます。(お問い合わせ先 医事係 平江まで)

## 長崎県中対馬病院

〒817-0322 長崎県対馬市美津島町鶏知甲 1304 番地 1 号

T E L 0920-54-2024(内線 105/750)

F A X 0920-54-3317(専用)

E-mail [renkei@oregano.ocn.ne.jp](mailto:renkei@oregano.ocn.ne.jp)

地域医療連携室(担当:江嶋)

長崎県中対馬病院のホームページを開設しています。

<http://www5.ocn.ne.jp/~tusima/>